

令和 7 年度第 2 回基山町歴史まちづくり推進協議会会議録

会 議 名	令和 7 年度第 2 回基山町歴史まちづくり推進協議会			
開催年月日	令和 7 年 11 月 21 日（金）			
開催場所	基山町役場 4 階 大会議室			
開閉会日時	開 会	10 時 00 分		
	閉 会	11 時 05 分		
委員の出席者 並びに欠席者 出席 10 名 欠席 2 名	氏 名	出・欠	氏 名	出・欠
	大森 洋子	出	今門 哲朗	欠
	重藤 輝行	出	福永 真理子	出
	園木 春義	出	野平 氏隆	出
	田口 英信	欠	坂本 弘	出
	小柳 剛志	出	熊本 弘樹	出
	古川 直樹	出	柴田 昌範	出
オブザーバー	井上 智史	国土交通省九州地方整備局		欠

※佐賀県県土整備部 文化・観光局は代理出席

担当課 定住促進課：山田課長、商工観光課：佐藤課長、木塚係長

事務局 井上課長、中島係長、島内、坂井、古賀

～10 時 00 分開会～

事務局）会議進行

ただいまより令和 7 年度第 2 回基山町歴史まちづくり推進協議会を開催いたします。本日は大変ご多用の中、協議会の開催にあたり、ご出席賜り感謝申し上げます。本協議会設置条例第 6 条第 2 項の規定に基づき、過半数の皆さまがご出席ですので、会議が成立しますことをお伝えいたします。

教育長）開会挨拶

皆さま、こんにちは。本日は、令和 7 年度第 2 回基山町歴史まちづくり推進協議会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。

本日は「ガイダンスセンター建設基本構想（案）」について先日行いましたパブリックコメント及び住民説明会、関係者アンケートを報告させていただきます。その後、構想案についてご審議いただきます。つづいて「基山町歴史的風致維持向上計画の変更」では、2 点のご審議をお願いしたいと思います。最後に今年度実施設計を行っている天智天皇欽仰之碑について工事案の審議をいただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局）資料の確認

本日は、国土交通省九州地方整備局建政部計画管理課課長はご欠席いただいております。県土整備部小寺課長の代理として副課長様にご出席いただいております。

ここから先は、同条例第 5 条に基づき会議の進行を会長にお願いします。

会長）それでは議事に入ります。事務局より説明をお願いいたします。

事務局）資料 1 は、ガイダンスセンター基本構想（案）についてです。

8 月 7 日の第 1 回でご審議いただきました。前回協議後に実施した住民説明会、パブリックコメント及び関係団体アンケートについて、多くの意見を頂いています。全部報告すると時間がないので、ここでは特に多かった意見を報告いたします。資料 1-①では住民説明、資料 1-②ではパブリックコメント、資料 1-③では関係団体アンケートをまとめています。

- ① 住民説明会は 10 月 20 日（月）に計 2 回開催しました。基本構想（案）の説明を行った後質問に回答させていただきました。駐車場についての意見と建設費について、基本構想（案）の内容を現在の施設のスペースで実現できるのか、一般の町民からの意見が少なすぎるといったご質問がありました。また基肄城が見えない、桜の木を残してほしいといったご意見もありました。駐車場が少ないのではという意見は、基山小学校の駐車場を利用する、小学校の駐車場の増設も検討し対応する旨を回答しています。建設費は、住民説明会の時点ではお示しすることができなかったということでご回答しています。施設のスペースの問題については周辺の類似施設から出していることを説明させていただいております。町民の意見については、住民説明会やパブリックコメントなどを通して、進めていると

いうことを説明しております。

- ② パブリックコメントについては、10月1日から30日まで実施いたしました。駐車場や建設費など、住民説明会と同様の質問がありました。建設費につきましては、概算で1億3千万円と回答させていただいております。ガイダンスセンター施設の内容については、住民の意見を聞く場を作って欲しい等の他、仕掛けについてのご提案などもいただいています。また条例改正に関する意見なども出されました。説明会・パブリックコメントともに、丁寧に回答を作成させていただきました。
- ③ 関係団体アンケートの結果です。基本構想の感想、建設場所については、概ね関係団体のアンケートの中では80%以上の方から良いというご意見をいただきました。これらの結果として前回提出させていただいて、8月に協議会で審議していただいた基本構想（案）から大きな変更点はなかったのですが、14ページで中央公園の敷地面積の訂正、22ページにガイダンスセンターの大まかな位置を示した図面を追記しています。

以上が報告となります。

質疑

会長）ただいまのご説明に関しまして、住民説明会、パブリックコメント、アンケートについての説明がありました。基本構想（案）については若干の訂正はありますが、前回審議した内容から大きな変更はないということでした。

皆様からご質問、ご意見がありましたらご指摘いただきたいと思います。

よろしくお願いいたします。

委員）本当にガイダンスセンターが必要なのか、町民としてはピンとこないというご意見があります。町の宝である基肄城跡は、国の特別史跡になっている。次世代にも繋げていくという思いがあってこういうガイダンスセンターを作っていく。そしてそれを活用しながら次世代に繋げていきたい、そういう拠点にしたいというような確固とした思いをもっとしっかりと打ち出していただくと、住民の皆さんも納得ができるのかなと思います。また今後の内容を作っていくにも、次世代に繋げていきたいという思いがあると、小学校・中学校・保護者の方たちにも何かアンケートを取って、ご意見を聞くとか、そういう多世代の方たちの意見も聞くと、新しい発想とかいろいろ出てくると思います。今後も続けていただければと思います。

会長）ありがとうございます。

・ガイダンスセンターが次世代への重要な基山の文化を伝えていくこと。

・外部へのアピールというか情報発信で観光客がこられたときの案内も考えていると思います。今まで外部から見たらこのネットで情報を仕入れるのかがよくわからないような状況もありましたので、それはしっかりとこのガイダンスセンターができることにより、私みたいに外部から来た者にとってまずここに行けば基山の情報がわかると、文化歴史、それ以外の観光情報などもわかるということの機能が

しっかりしていれば大変いい施設になるのではないかなと私も思っております。

事務局の方、いかがでしょうか。コメントに対し回答をお願いします。

事務局) ご意見ありがとうございます。

このガイダンスセンターは、基山の宝である基肄城跡は国の特別史跡でございます。意見交換の中、町民の中でも基肄城跡のこと知らない年代もあるというご意見もありました。そういう意味でもこのガイダンスセンターの果たす役割は今後一層必要になるのではないかと考えています。また、今後施設の内容について、いろいろな方のご意見を聞く場を設けたいと考えており、進めていきたいと思っております。会長からもおっしゃっていただきましたが、5 ページに基本方針をまとめさせていただいております。その中にも子供たちをはじめ、多くの世代に伝えていきたいという思いも含めておりますので、どうぞ今後ともご理解いただきますようお願いしたいと思います。

会長) ぜひ子供たちが楽しみに訪れる施設ができるようお願いいたします。ありがとうございました。

ご意見がないようでしたら、基山町ガイダンスセンター建設基本構想案は承認したということにしたいと思います。よろしいでしょうか。

——反対意見がないようでございますので、『ガイダンスセンターの建設基本構想(案)』は承認されました。

続きまして、歴史的風致維持向上計画の変更について事務局から説明をお願いします。

事務局) 今回変更いたします①きやまんもん文化遺産情報館、②御神幸祭の道等環境改善事業になります。資料2の様式1の表を参照ください。変更するのは今回4か所となっています。表紙と194ページ、205ページ、214ページの図を変更しています。様式2のA-3の図面を付けておりますのでご参照ください。

最初のページが、表紙の変更になります。続きまして裏面です。194ページが、歴史的風致に対する認識に関する事業で、きやまんもん文化遺産情報館、右側が旧になります。大きな円で示されていたのですが、今回194ページ左側の新しい表で中央公園内1点に示す変更となっています。都市公園条例の改正ができてからになりますが、国交省に計画変更の申請を出したいと考えております。次に205ページは、御神幸祭の道環境改善事業の変更になっています。事業の概要で、御神幸祭の道、大興善寺参道及び園部くんち御神幸の道の美装化を始めとした景観整備として、2.1キロを予定していたのを2.8キロへの変更、また大興善寺は増加しつつある外国人観光客を含めた来訪者向けの便益施設(トイレなど)を整備する。と変更をさせていただきたいと考えております。214ページ、きやまんもん文化遺産情報館整備事業は整備予定地を広く円で囲っていたものを194ページと同様に、中央公園の方に加点を付けさせていただきました。

以上が今回変更する内容となります。

会長) ありがとうございます。

事業の変更について説明がありましたが、ご意見、ご提案などはありませんか。なければ承認とさせていただきます。

次に、天智天皇欽仰之碑保存修理実施設計の修理工法について説明をお願いします。

事務局) 資料 3 を参照下さい。

令和 6 年度にお諮りしました天智天皇欽仰之碑の調査内容について、銅柱部分については、(1) に示した工事で進めたいと考えております。事務局では基壇部の修理方法について悩みがございますので、ご意見をいただければと考えております。

現状ですが、2 ページの写真をご覧ください。基壇南側の上段葛石の目地が開いております。築石よりも重心が前に出ており、前方に落下する危険があるということです。また、基壇の足元の土が流出していることから基礎が一部露出していることが課題となっております。そこで、修理について事務局では 3 つほど悩んでおります。4 ページをご覧ください。

A 案は葛石接着後、鋳を使って補強する。基壇部分は表土を改良して流出を防ぐ案です。利点は構造的に強度が高い、基壇の土の流出が抑えられる点です。不利点は、石材に一部加工が発生する。鋳を隠すことが出来ない点があります。3 ページのような工事となります。

B 案は葛石接着、鋳補強するが、地盤には手を加えない点です。利点は構造的強度が高いことです。不利点としては、表土が流出するリスクがある。石材に一部加工が発生する。鋳を隠すことが出来ない点があります。

C 案は葛石補強を接着剤のみで行う案です。利点としては石材を傷つけない、目立たない点です。不利点としては、構造的な不安が残る。将来的に表土の流出が進む可能性がある点です。今のところ鋳補強は 3 ページのように進めたいと考えています。3 ページの上の方ですがどうしても石材に穴を開けて鋳をつけないといけないということです。鋳をつけるということでもどうしても残ってしまう。外から見えてしまうところがあります。ただここはかなり上の方ですので普通に下から見分には鋳が見えるというようなことはありません。

事務局としては A 案であるのが望ましいと判断しているところです。皆様のご意見を聞きたいと考えております。よろしくお願いいたします。

会長) 欽仰之碑の工事案についてあげられています、利点それから不利点もあげていただいております。皆さんで、これに対してどうお考えなのかご意見を伺いたと思います。よろしくお願いいたします。

質疑

委員) ①A 案、ステンレス鋳を葛石に止めるとして、どれくらいの耐久年数が見込まれるのか。

- ② 基壇の周囲のセメント系改良土いわゆるこの表土改良ですが、1 ページの図面だと基壇の周囲に広がりがあるが、基壇基礎の位置から周囲何mの範囲で施工としているのか教えて下さい。

会長) 事務局お願いいたします。

事務局) ステンレス鍍の耐久年数ですが工事業者に問い合わせをしているところですが、明確な答えはまだですが、相当な年数を持つということだけは確認を取っているところです。今後報告させていただきます。

基壇の下のセメントは現況の表土 3 cm 程度削り込み、セメント系改良土にするということですが、今実施設計段階でどのぐらいの厚さにするかまではまだ詰めきれれていません。どちらにしてもセメント系改良土とすることで、基礎の露出等が抑えられるような形で設計したいと考えています。

事務局) 補足ですが、ステンレス製鍍については、耐久について後に報告させていただきますが錆びないというのも利点としてステンレス製鍍で対応しようと思っています。改良土施工の範囲ですが、1 ページ図面を見ていただくと、周囲 1m 位の流出する土砂を止めるという施工をさせていただきたいと思います。表層土を 3 cm ほど削り取ってそこにセメント系の改良土を入れて流出を防ぎたいと考えているところです。実際に 1m の範囲で終わるかどうかは、現地できちんと業者と協議をしながら進めていきます。現状として、土留めのための大改良を入れた方がいいのか、そこまでしなくていいのかというところと、鍍を入れた方がいいのか入れない方がいいのかというところのご議論で今日お話ししたところです。

詳細につきましては、第 3 回協議会を開くことになろうかと思いますが、そのときにご報告したいと思っています。

会長) ありがとうございます。

1 ページに補修概要図が載っていますが、地盤改良する部分の幅はこの図面で書いてある通り 2m ぐらいですか。

事務局) 寸法は 1 m 少し越えるくらいで書いています。

会長) それぞれが四方に回るといようなイメージですか。

事務局) 欽仰之碑が傾き始めているのは、南東側が土砂の流出で傾いていますので、全周回す必要はないのではないかと考えています。南東側のどこまでの範囲か、実施設計を担当している業者と協議しながら進めていきたいと思っています。

会長) 主に北側の方は影響がないので、流れ出している南東側の方をメインに、しかし何か施さないとこのままずっと傾き続けていくと意味がありませんので、特に地盤というか基礎はきちんとしておかないと、修理しても下が壊れてしまったら何ともありませんので何かの処置は必要だと思います。

委員) 基肄城保存活用計画がありましたが、保存活用計画の中で保存管理、現状変更とか、そういったところで整理されている。その関係を教えていただきたい。

事務局) 基肄城保存活用計画はまだ立案しておりません。

整備計画は作っているところですが、整備計画が終わった段階で保存活用計画を作ることになるかもしれない。整備計画の方で、住民を交えてワークショップ等した中で、基肄城の顕彰建造物ですのでそういったものをきちんと手当する方がいいのではないかというご意見を頂きました。

また、歴史的風致維持向上計画の中で、風致形成建造物に指定をさせていただいて、周知されているというところですので、この基本整備基本計画と歴史的風致維持向上計画に則り、進めているところです。整備が終わった段階で、おそらく保存活用計画を策定していく必要が出てこようかと思っています。

委員) 特別史跡の表土を鋤取りというのがデメリットということでA案の提案でもちろん現状変更のところをすごく意識されていることだと思うのですが、この欽仰之碑の位置づけをやらなかったことで、今後史跡に与える影響がかなりあると思う。流出する恐れがあるというのですね。そういったところまで含めて判断されたら良いかと思います。その上で私はA案で大丈夫かと思っています。

会長) 他の委員の方がいかがでしょうか。A案、B案、C案があります。

史跡に与える影響と、それから今後きちんとこれが保っていかないと、どこまでどういじるのか、今後のことを考えてどうするのかになると思います。

A案は鎧も入るということですね。それプラス基礎の足元の表土の改良も行います。この葛石の下ガードが元々外の方に重力がかかり、どうしても傾くような設計になっている、元々の設計が少し無理をしているのではないかと。当然外の方に重心がありますので、傾いていくのはもう必然ですのでこれを止めないとどうしようもないと思います。やはり接着剤が今は性能良くなっているとはいえ、不安が残るということで、鎧をつけるということになったと思います。

他の委員の方はいかがでしょうか。

委員) 例えば観光客として基肄城に登ったときに、鎧が見えてしまっても、何かそこを塗装するとか、観光客として見たときに、今までの風合いが崩されないように念頭に入れながらやっていただけると良いと町民として思いました。

会長) ありがとうございます。当然影響のないように、見た目もやっていただければと思います。

委員) 1ページ(3)、今回の修理計画の中で建設由来書の銘板を復元すると記載されております。従前からあった由来書が何らかの原因で取れて今なくなっているという状況がずっと続いていたものですから、我々ボランティアでガイドをするときも、経緯とか由来も含め、非常に説明がしやすくなるのではないかと期待をしています。それと同時に、建設した経緯の中で、佐賀県をあげて寄付を募って建設をしたという経緯があります。その中で地元の小学生も含めて、いろんな方が注目されて、中学生などが当時ひとり1銭円ずつ集めて寄付し、それを全部積み上げて建設されたということで、その寄付した人の氏名を書いた紙を、この石柱の中に永久保存するという記載があるんですね。芳名帳の件については何かその後、情報がない

でしょうか。何かありましたら、お願いします。

会長) 事務局お願いします。

事務局) 委員と一緒に探索をずっと続けておりましたが、どこに何が入っているのかわかっていません。米軍の戦闘機からの銃弾痕跡に、内視鏡を入れても見えなかった。今銘板が取れているところ、もしかしたらここにあったのかと想像しておりましたがわからない。

それを見つけるためには、全解体しなくてはいけないと思っておりますけども、昭和8年の竣工で、非常に精巧に作っていますので、これを解体するとそこに戻すのはなかなか至難の技だと思いますので、大変申し訳ありません。なぞの状態でそのまま修理をしていきたいと思っております。

銘板につきましては、肥前誌談の中に文章があるということと、筑紫誌談の中にも武谷水城さんという太宰府市の郷土史家の方が書いておられますが、その中にもこの欽仰之碑がどういう依頼で建っていたのかと書かれていたと記載されておりますので、その辺を複合的に考えて、肥前誌談に書かれてある建設依頼書をそのまま銘文として嵌められていたのだろうと考えているところです。

もう一つ、今委員が言われた経緯につきましてはなかなか説明しづらいところがありますので、欽仰之碑が建っている下の遊歩道部分に、この解説板をつける予定としているところです。鏝が見えないようにということですが、葛石に埋め込むような形で設置したいと思っております。欽仰之碑の根元に来ると見えないのですが、タマタマ石の方から登山道を降りてきますとおそらくは見えるのですね。上から見下ろす形になりますので。そういったところを気にしながら、なるべく埋込形で見えないような設えをというふうに考えていきたいと思っております。

会長) どうもありがとうございます。

委員) 銘板ですが、ここに銘板を入れたときにそこだけ新しくなっている違和感を放つような事になってもいけないなと思っております。色とか素材とか、どういう計画になっているか。あとこの由来銘板の内容についても、改めて第3回目協議会で資料として出して欲しいと思っております。

会長) 事務局お願いいたします。

事務局) 建設由来書につきましては、改めて第3回の協議会でお出しします。

銘板ですが、やはり新しく作るとどうしても少し浮いてしまうので、実設計の中で業者になるべく馴染むような色味にしてもらいたいと思っております。なかなか経年感を出すのが難しいですが、だんだん馴染んでいくってところで進めていければと思っています。最初から古色仕上げのやり方もありますが、本当に新品の十円玉みたいな形で埋め込むというのも一つであります。「新しいよ」ということを示す手法ですが、実際ここに新品のものを入れてもおそらく1年で緑青がふいて、古色仕上げみたいになってこようかと思っております。

例としては宮地嶽神社が銅板葺きで改修されたのですが、改修された姿を見た

きに非常に違和感ありましたが、1年後に行ったときにはもう普通の色になって、緑青色になっていました。実施設計をやっているコンサルと協議しながら進めていきたいと思っています。

会長) ありがとうございます。

委員) 銘板は銅板葺きでされるということですが、由来書銘板を別にアクリル板みたいなもので、小学生でも読めるような大きさの字で書いていただくとか、写真を入れるとか、そういう説明書きみたいな銘板はないでしょうか。

会長) 嵌めこむ由来書とは別に、説明板を作るということですね。

事務局) 説明板を付けることにしておりますので、その中で対応できればと考えているところです。

会長) 欽仰之碑近くに置かれるのですか。

事務局) はい。天智天皇欽仰之碑下の遊歩道部に説明板を作ろうと考えております。

委員) 東側基礎部分に避雷針の跡(アース線)があるのですが、今後どうするのか。基山(きざん)は雷がよく落ちる山で、ひび割れもしているしその辺はどうなのかなと思ったりしています。

事務局) 東側に立ったら確かに判るのですが、昭和8年に建ててこれまでの年数の中で、おそらく何回も多分雷に打たれているのだろと思いますが、結果壊れているということがないので、二つの選択肢があらうかと思います。

今まで通りそのまま何もしないことが一つ。昨今、悪天候も多く雷に打たれそうな感じがするときがございまして、線を銅柱に接続するのが一番ふさわしいのかなと思っています。

また、別に避雷針を立てますと、非常に景観的にそぐわないというのがあります。アース線を復旧するのかどうかについてはまだ検討してまいりたいと思っています。

会長) 検討していただけるということです。よろしくお願いいたします。

・銅柱部の弾痕がありますが、それはエポキシ樹脂系パテで埋めて雨水の侵入を防ぐという処理です。その穴自体もこれは歴史ですので、弾痕があるということを残しつつ経年変化に合わせた技術で施すということです。

・銘板、欽仰之碑自体の修理、特に葛石の部分と地盤改良、これらが今回の大きな修理になります。

A案で進めていくということでよろしいでしょうか。

全員) 承認――

会長) それでは、A案で進めるようよろしくお願いいたします。他に、全体を通して何かありますでしょうか。

異議ないようでしたらご出席いただいております県土整備まちづくり副課長様、何か一言お願いします。

委員) 副課長である私の方が参加させていただきました。

初めて参加させていただき、基山町の取り組みを知ることができ、まちづくりの観点からも非常に努力、頑張っておられると思います。

全体を通して、ガイダンスセンターの建設構想の部分が非常に大きな町を挙げての計画ということで非常に関心を持って聞いておりました。

パブリックコメント等や住民説明会の方からの意見、各委員の方からも言われました通り、この制度趣旨を広くお知らせして、基山町さんの建設にかけた思いをご理解いただくのが非常に重要なことだと思っております。次回以降も進捗を聞かせていただければと思います。

会長) 方針を住民の方に知らせるのは大切なことですのでお願いいたします。

委員) パブリックコメントで9つの質問がありますが、住民説明会資料1-①-6段目のところで「補助金がつかなくても是非ぜひ建てたいか」という質問があって「補助金がつかなかったら先延ばしになる」というお答えがあるのですが、この方の意見としては、「それだけはやりたいのか」というような意図の質問だったと思います。何かお聞かせいただければと思います。

事務局) 基山町には、全国に誇れる国の特別史跡基肆城跡があります。歴史をつなぐために、小学生、中学生、社会人まで含めまして、町民による基山創作劇を上演し、体験しながら学びながら続いてきているわけでございます。このガイダンスセンターの中でもそういうものを発信していきたいと思っております。基山には基肆城跡だけではなく、長崎街道もございますし、多くの文化財がございますので、それを基山町の皆様が知っていただいて誇りに思っていていただくようなそんな町の姿をガイダンスセンターを通して作っていきたくて考えております。

委員) 私もずっと基山町と関わりがある中で本当に一生懸命やられていると思っています。今のお答えもすごく訴えるものがあり、どんな場面でもしっかり言っていけば、住民の理解は進むと思います。頑張ってくださいと思います。

会長) どうもありがとうございました。

委員の皆様の方からは全体を通して、これだけは言っておきたいということがありましたらお願いします。

——ないようでしたらこれからの進行は事務局へお返しします。

事務局) 結びのあいさつ

会議の進行ありがとうございました。委員の皆様、たくさんのご意見ありがとうございました。いただいたご意見を咀嚼し、歴史まちづくりの推進を進めてまいりたいと思っております。皆様ありがとうございました。

閉会にあたりまして、委員でもあります副町長より挨拶申し上げます。

副町長) 本日は様々なご意見ありがとうございました。

今日いただいたご意見も踏まえて、予算の部分については、町としてはこのガイダンスセンターを建設していくという方針を固めているわけですので、予算確保も含めて、努力をしてまいりたいと思っております。これからもご理解ご協

力のほどいただければと思います。よろしくお願いいたします。
本日はどうもありがとうございました。

～11 時 05 分閉会～